

令和4年度事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

実施日：令和 5年1月

		はい	どちらとも いえない	いいえ	該当 事象	コメント
環境整備・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	○			法令で定められているスペースと定員で運営しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者1名、管理者1名、児童指導員2名を配置しております。
	3	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	該当する生徒はおりませんが、教室内の段差が無いなど、配慮した構造になっております。
業務内容	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝礼時、終礼時に全職員で目標設定と振り返りを行い、業務改善について取り組んでいます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	○			評価表や保護者会でアンケートを行い、保護者の意向を把握し、業務改善に繋がるよう努めています。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			凸凹ベース株式会社から講師を招き外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげるよう努めております。
	8	職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	○			外部の研修などに参加し、職員の資質向上の機会を確保しております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			行動観察などのアセスメントを行い、保護者や生徒のニーズや課題を分析した上で個別支援計画書等を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールは教室にはありませんが、知能検査等の結果を用いて適応行動の状況を図ることがございます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			生徒の特性や保護者のニーズに合ったプログラムを職員間で話し合い立案をしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週刊テーマがございますが、プログラムが固定化しないように計画を立て実施しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、長期休暇に応じて課題を設定し支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動と個別活動の曜日や時間を分けて実施しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時に支援内容や役割分担などを確認し支援を行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	○			支援終了後にはヒヤリハットや支援内容、課題について気づいた点などを共有し、次回に生かせるように振り返りしております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別課題に沿った記録を徹底し、支援の改善につなげております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			毎月モニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しております。また、必要となった場合は保護者と面談を行い変更をしております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			社内研修で、ガイドラインの内容を理解した上で、工作、運動、調理などの活動を取り入れております。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者等が参加しております。
	21	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など）、連絡調整（送迎時対応、トラブル発生連絡）を適切に行っているか	○			学校との情報共有や支援会議などを適宜行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は医療的ケアが必要な生徒の受け入れを行っていませんが、受け入れた場合には生徒の主治医等と連絡体制を整えて支援を行って参ります。

	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		現在利用している生徒が就学前に利用していた事業所等との情報共有は無いが、各事業所との相互理解の機会はあるため、さらに連携を図りながら支援を行って参りたいと思います。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		○		保護者や生徒からのニーズがある場合には支援内容等の情報提供を行って参ります。	
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		今年度は新型コロナウイルスの影響により研修機会を設定できませんでした。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		感染症対策として、今年度は活動する機会がございませんでした。行政の情報を見ながら、感染症が落ち着いた頃には活動する機会を検討していきたいと考えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			参加できる日程の際は参加しております。
	28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				お迎えや面談等で教室での様子をお伝えしたり、学校や家庭での様子をお伺いし、発達の状況や課題について共通理解を持ちながら支援をするに努めております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○			ペアレントトレーニングは行っておりませんが、日々の振り返りや面談等で、保護者様に家庭での様子をお伺いし、その中で実践可能であろう支援内容をご提案させていただいております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定、支援内容、利用者負担等について、丁寧なご説明を心がけております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様からいただいたご相談は親身にお伺いさせていただき、ご提案や教室内でできる支援を行っております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		年度内に一度保護者会を開いております。現在は保護者同士が連携できるような会になっていないため、今後は保護者同士も繋がりが持てるような会になるよう検討して参ります。	
	33	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所内に苦情窓口の職員を配置していると共に、自治体の苦情窓口を重要事項説明書に明記しております。苦情を頂いた場合には迅速かつ適切に対応して参ります。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月ハッピーテラス通信を発行し、保護者様にお配りしております。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は鍵付きのキャビネットで管理しております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者との意思疎通、情報伝達に関しましては、手紙の配布、メールや電話などを使用しております。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		事業所の行事に地域住民を招待するなどの運営は行っていないため、今後検討して参ります。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか		○		現在契約の際にはお話ししておりますが、より分かりやすい形での周知に努めて参ります。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回防災訓練を実施しております。また、教室の入口までの避難経路を確認し、避難訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	○			社内に虐待防止委員会を設置し、虐待防止に努めております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在該当となる利用者はいませんが、必要となる場合には個別支援計画に記載の上、最小限の拘束となるよう支援方法を検討して参ります。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		食物アレルギーの生徒はいませんが、食物アレルギーの生徒がいた場合には、医師の指示書に基づく対応を行って参ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリハット事例が発生した際には当日中に共有し、記録に残しております。